

梅雨に備える!

梅雨時期には日照不足が原因でチッ素過多になりやすく、軟弱徒長、つるボケ、花ぶるい、結実不良、病気にかかりやすいなどの様々な弊害が発生します。

梅雨が到来してからでは遅い!
今から十分な心構えと対策が必要です!

【日照不足だとどうなるの?】

チッ素過多

(3大栄養素であるチッ素・リン酸・カリのバランスが崩れる)

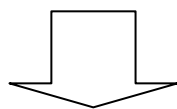
【具体的な弊害】

- 軟弱徒長
- 過繁茂
- つるボケ、花ぶるい・着果不良・奇形果
- 着色・糖度の低下
- 病気の発生

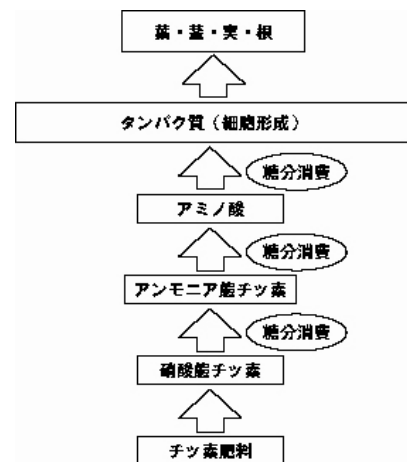


【日照不足時の対策】

過剰になったチッ素を消化させるには光合成を盛んにし、炭水化物(糖分)の生成を増やす!



リン酸 (MリンPK) は光合成の要!
少ない日照量でも光合成ができる。
(ATP: アデノシン三リン酸が光合成を行うためのエネルギー源となります。)



チッ素が作物内で消費される仕組み

【多雨・日照不足時の追肥】

「効くリン酸資材で梅雨を乗り切る」

微生物によって処理されたリン酸資材。
作物が吸収しやすいリン酸とすることで、チッ素過多を予防
または回復させます。
また、水に溶けやすく、残留物がない液肥専用肥料なので、
施設園芸などでのカン水チューブ等での使用に適しています。

【使用方法】

10a 当たり 1 袋を使用。水に溶かしてカン水してください。



MリンPK
液肥の素

梅雨時期はMリンPKに加えて葉面散布がオススメ！

葉から直接養分を吸収させることによって、土壌施肥より肥効が
早く現れ速効的な生育調整が可能となります。
特に梅雨の多雨・日照不足時には、根からの吸収力が弱まるため、
葉からの養分吸収は大変効果的です。

葉面散布材は葉裏に多くある
「気孔」から主に吸収されます。



☆Pフォスタ 500倍液

☆リーフアップV1 500倍液

Pフォスタ

リン酸によって光合成を促進→チッ素を消費（葉枝が硬くなる、花が着きやすい）糖度・着色の向上

リーフアップV1

有機酸によってチッ素過多を防止・改善すると同時に、害虫が嫌がる酢やアルコール成分が入っています。



Pフォスタ



リーフアップV1

※露地の場合は・・・雨が降った後の朝か夕方に散布し、散布後は3～4時間ほど乾かしてください。

※詳しいご質問は各代理店またはミズホ会本部まで